

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成 22 年度実施事業	新規	拡充	重点	継続

担当局/課	子ども家庭局 男女共同参画推進部
連絡先	582-2405

政策分野	仕事と子育ての両立支援
------	-------------

事業名	地域ぐるみで働き方を見直す体制の推進
-----	--------------------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を運営し、市民や企業等に対してワーク・ライフ・バランスの理解促進のための啓発事業等を行います。		
	その結果、実現を目指す施策名	施策名	働き方の見直し	

【目的実現の為に実施する内容】	実施工程	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由	
		当初の予定	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の運営(会議開催、啓発事業など)	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の運営(会議開催、啓発事業など)	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の運営(会議開催、啓発事業など)	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の運営(会議開催、啓発事業など)		「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の運営(会議開催、啓発事業など)
	これまでの進捗状況・今後の予定	・推進協議会 1回開催 ・推進懇話会 3回開催 ・キャンペーン(11月)など啓発事業実施	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の運営(会議開催、啓発事業など)	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の運営(会議開催、啓発事業など)	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の運営(会議開催、啓発事業など)	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の運営(会議開催、啓発事業など)		
【実施状況】	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の開催			計画	平成22年度 4回	平成23年度 4回	目標
		企業、働く人、市民、行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を運営し、本市におけるワーク・ライフ・バランスの推進施策について協議するとともに、啓発事業を実施します。			実績	4回		年度 -
	ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン協賛事業のうち学校開放週間参加者数	計画	-	-	年度	-	-	内容 -
		実績	84,672人		年度	-	-	内容 -
	11月の推進キャンペーン期間中に協賛事業として実施される学校開放週間への参加を促進し、ワーク・ライフ・バランスの推進をPRします。	計画	-	-	年度	-	-	内容 -
		実績	-	-	年度	-	-	内容 -
【コスト】	事業費	10,595千円	19,253千円					
	うち一般財源	3,435千円	12,695千円					

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

【実施結果】	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催(協議会1回、懇話会3回)して、地域や企業等におけるワーク・ライフ・バランスの推進について協議し、情報を共有しました。また、11月の推進月間には「子育てと仕事の両立」をテーマにキャンペーンを実施し、「充実生活デイルスローガンの」募集や街頭啓発・ウェブサイト等においてワーク・ライフ・バランス推進のPRを行うなど、概ね計画どおり取り組みました。
--------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

【評価】	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	3	誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現するためには、地域や企業等におけるワーク・ライフ・バランスを推進し、働き方や暮らし方を見直すことが非常に有効であると考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	3	市が単独で実施するのではなく、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として様々な立場の人が同時に取り組むことにより、経済性・効率性は高いと考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	少子高齢化、労働力問題等、様々な分野で、働き方や暮らし方の見直しは重要な課題であり、適時性は高いと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか。市の関与をなくすことはできないのか。	4	まだ、社会に充分認知されているとは言えず、関係各界の利害も異なるので、市の関与の必要性は高いと考えます。
【今後の方向性】	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア	地域ぐるみでワーク・ライフ・バランスの推進に取り組むため、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、今後も継続して、ワーク・ライフ・バランスの理解を深めるよう広報啓発事業を実施します。また、関係機関との連携を図り、新たに男性の家事・育児への参加促進事業を実施して、市民や企業等に対して直接働きかけることにより、意識の向上に努めます。

【次年度計画】

目的実現のために23年度に実施すること	平成23年度も引き続き「子育てと仕事の両立支援」を取組目標とし、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会・懇話会」の開催、推進キャンペーンの実施などを継続して行うとともに、新たに男性の家事・育児への参加促進事業を実施するなどワーク・ライフ・バランス推進の取組みを積極的に行います。	前年度に評価した今後の方向性
---------------------	--	----------------